

○桜谷地区タウンミーティング議事録(概要)

日 時:令和2年11月21日(土)

午前10時から午前11時30分まで

場 所:桜谷小学校 体育館

出席者:34人

テーマ1 自転車の安全利用・活用促進について:市民生活部

<主な説明事項>

- 1 自転車に関わる事故件数と原因
- 2 自転車安全運転のルール
- 3 自転車を取りまく近年の動向
 - ・国・県の動向
- 4 富山市の取組
 - ・富山市自転車利用環境整備計画を中心として

【市民生活部の説明に対する質問】

小学校で自転車交通安全教室をやっておられるということでしたが、一般の方にも、今日ご説明いただいたことが知らされなければならないと思います。

また、ハード面の整備や保険への加入促進ばかりが目立っているように思いますが、こういう事故が起きていて、この事故をなくすためにはどうしなければならないか、どういったところに問題があるのか、そういった見識をもっと市民に知らせていくことが大切だと思います。

(市民生活部長)

国や県の方では、交通安全ということも含めて自転車の活用促進について、大きく見直しが行われている状況であり、本日、このようなかたちで自転車のお話をさせていた

できました。市といたしましても、平成 23 年に自転車利用環境整備計画を作成し、取組を行ってきているところでもあります。しかし、車や歩行者など様々な面からの交通安全がある中で、なかなか自転車にかかる部分についての説明はできていなかったということ踏まえ、今回、このような形でご説明させていただいたものです。今後は、国、県の動きを踏まえ、しっかりと市民の皆様にお伝えしなければならないということも含め、今後の計画で力を入れてやっていきたいと思っております。また、地域の皆様にとどのように伝えていくか、交通安全協会の皆様のご協力も得ながら、動きを起こしていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

交差点で赤信号になっても、次から次と右折車が入ってくる場合があります。信号機を備え、ハード面を整え、法律でこうなさいと決めても、なかなかうまく伝わらない。人間なので、信号無視して大変な事故になって自分に不利になることを考えず、自分の都合で早く行くことばかり優先してしまう。もっと取り締まりをきつくるなどして訴えていかなければいけないと思っております。

(市民生活部長)

最近話題になっていましたが、JAF(日本自動車連盟)の調査で、富山県が信号機のない横断歩道の一時停止率ワースト 4 位となっていました。これはあまり良いことではありませんので、どうしたらこうしたことを解消していけるのか考えていかなければいけません。交通法規をしっかりと守ることが一番大切でありますし、県警でも取り締まりを強化しておられると伺っています。市町村のレベルでは、このようなことがあるということをお伝えしていかなければいけませんので、これに関する事業も強化していきたいと思っております。

法規、交通ルールという部分と、譲り合いといったマインドの部分と、どのように皆さんに訴えていけばいいのか、次年度あたりから、皆さんの心に訴えていく事業をやっていけたらと思っております。

アヴィレについて、利用率が少ないのではないかという意見を聞きますが、市民の皆さんの利用なのか、観光客を狙った利用なのかわからない部分があります。

(市民生活部長)

観光であるか、市民の利用であるのかということについては、特段の制約はないと思っております。これは幅広くご利用いただくということで、少しずつステーションを設置して多くの方にご利用いただきたいということを聞いております。

テーマ2 富山市の観光施策について:商工労働部

<主な説明事項>

- 1 観光を取り巻く情勢
- 2 富山市の現状について
- 3 富山市の観光戦略について
- 4 特徴的な事業の紹介
- 5 コロナ禍における取組

【商工労働部の説明に対する質問】

呉羽丘陵の観光について、フットパスの計画も含めて、どのように考えておられるか教えてください。

先の質問に関連して、桜谷地区には非常に恵まれた自然があると思います。呉羽山の五百羅漢は映画「散り椿」の撮影場所にもなりました。新幹線が開業しても、富山は見るところがない、とほとんどが金沢に行ってしまう。これからの新幹線の延伸を考えると、もっと富山への観光客が減るのではないか。神通川、立山連峰、呉羽丘陵など、この恵まれた自然をどう生かしていくのか、このような自然を生かした観光開発をやっていってほしいと思います。

(商工労働部長)

呉羽丘陵は中心市街地からとても近く、様々な自然に恵まれ、立山連峰がきれいに
見える素晴らしい観光地、ポテンシャルの高い観光地と認識しています。

そういった中で、呉羽丘陵の自然を生かしながら観光地化することは非常に重要だ
と思っております。そこで、ご質問にもありましたフットパスというものを富山市で整備して
いこうということで、いろいろと計画しているところであります。呉羽丘陵の自然を大事に
し、それをいかに生かして計画していくかが大事だと思っております。

また、今の季節は紅葉や雪をかぶった立山連峰がとてもきれいです。こういったもの
を、フィルムコミッションでドラマや映画の撮影に使っていただくということなどを交えな
がらこれからも積極的にPRしていきたいと考えております。

北陸新幹線が開業し、富山と金沢で比較されますが、駅前の状況などは観光に絡む
部分だと思いますし、対抗意識ではありませんが、金沢に負けないよう、駅前もまちぐる
みで盛んにしていただきたいと思っております。

今日は富山市の観光施策の話でしたが、県と市との関係を構築していくことが必要で
はないかと思っております。そこで、県の中の市の位置付けについてお聞きしたいと思いま
す。

(商工労働部長)

今後、北陸新幹線が敦賀まで開通し、大阪とより近くなることを考えると、観光戦略が
非常に重要になってくると思っております。特に、先ほどから金沢の話が出ておりますが、金
沢は観光客も多く、観光地も多いですが、富山も負けないように、富山にはこういういい
ものがあるよ、ということをもっと見せていかなければいけないと考えております。

そのような中、県や他市との連携は、今後とも十分にやっていかなければならないと
思っています。観光客の方にしてみれば、富山市だろうが、滑川市だろうが、立山町だ
ろうが関係ないわけです。いろいろなところをめくりたいわけです。そのために富山市、
滑川市、舟橋村、上市町、立山町と連携しながらやっておりますが、それを全国の方に

分かりやすくPRしていけたらと思っています。あわせて、県とも連携し、「富山はここにある！」ということを積極的に伝えていけたらと思っています。

また、長野市、飯山市、岐阜市と都市間交流推進事業を行っていますが、富山市だけが孤軍奮闘するのではなく、県を越えた様々な市と協力していくことも必要だと思っています。

【その他意見交換】

今度、稲荷町にアリーナができるということで話が進んでいるかと思いますが、5千人規模のもので、ぜひグラウジーズのホームコートにしていきたい。アリーナであれば、音や光の演出も画期的に変わってくると思います。あわせて、サッカー場も作っていただければ、富山駅にも飲食が伴うのではないかと思いますので、検討していただきたいと思います。

富山駅に降りた観光客にとってインパクトが少ないのではないかと考えています。富山には素晴らしい富山湾があるので、駅に降りたら富山湾をイメージできる巨大水槽を作り、観光客が驚くような、富山湾をイメージできるようなものがあればいいと思います。

また、富山駅に大きなお風呂を作って、富山マラソンの後や登山の後に利用してもらえるよう、また市民の方もお風呂に入るために富山駅へ行って、観光客の方と交流を持ってもらえるようにしてはどうかと思います。

スローフード世界大会を富山市で誘致して、オーガニックな食事と日本酒の試飲などを行えば、良い宣伝の機会になるのではないかと考えています。

(企画管理部長)

たくさんアイデアをご提案いただきありがとうございました。何点かについてはお答えさせていただきますが、その他のたくさんアイデアにつきましては参考として受け止めさせていただきます。

まず、皆さん誤解されている方もいらっしゃるかもしれませんが、一部報道でありましたように、稲荷町の方でアリーナ構想というものが数か月前に載っていましたが、富山

市が計画しているものでは一切ございません。稲荷町にありますショッピングセンターのアピアさんを中心に民間のコンサルタント会社などが、稲荷町周辺の再開発事業ということで、お考えになっているものであり、富山市は一切、関係しておりません。また、稲荷公園という都市公園の中で、報道にあったアリーナというものを整備することには現行の法令上の制約があります。このようなことから、大変、夢のある計画であるということは否定しませんが、実際に実現するとなると、法令の問題や、どうやって資金を集めるかなど、かなりハードルが高いと思っております。いずれにしても富山市が進めている計画では一切ないということをご認識いただければと思います。

次に、富山駅の方で、富山市とJR西日本が持っている南西街区でJR西日本系列のホテルを整備しておられます。これは令和4年の春に開業予定ですが、ここでは、先ほどおっしゃっていただいたお風呂(入浴施設)、これはホテルも併設されますのでホテルの宿泊客も入られますが、例えば立山に県外から登山に来られた観光客の方が新幹線で帰られる際に、そこで日帰りでお風呂に入ることができるよう、検討していただいているところであります。残念ながら温泉ではありませんが、富山の旅の思い出として、そこでお風呂に入り、ゆっくり疲れを癒して帰っていただく、これもひとつの観光の目玉となるのではないかと考えています。

いずれにしても、いまほどたくさんアイデアをいただきましたことにつきましては、参考にさせていただきたいと思っております。

呉羽丘陵の観光地としての魅力アップについては、非常に期待しております。

新幹線効果というものがあありますが、富山の場合は観光バスを使って、遠くへ移動しながらの観光というのは必須だと思うのですが、100人、150人規模で昼食をとれるような場所が富山市周辺にはありません。岐阜、高山などの近くの観光地に行って昼食を取られているので、そのようなことへの対策も考えた方がいいのではないかと考えています。市が直接というわけにはいかないと思っておりますので、何か検討していることなどがあるのかお聞きします。

(商工労働部長)

現在、個人旅行が盛んとはいえ、やはり団体旅行で 100 人、150 人の観光客の方が来ていただけると、富山の経済効果も非常に大きいと認識しております。

ご質問のとおり、市で 100 人、150 人規模の飲食施設を作ることは、基本的には無理ですので、本日のアイデアをお聞きしまして、民間の方からそのようなご相談があれば、お話を聞きしたいと考えております。

観光について、これまで観光案内所や東京でのアンテナショップなど積極的な取組をされていますが、それがうまくいっているのか、あるいは県外から来られた方が何を望んでいるのかということ掘り下げていかないと、ハード面の整備やPRの材料をつくることだけでは伸びないように思います。

コロナによる影響も大きいですが、これからは、コロナがあるうえでの観光を考えていかなければいけないと思います。感染防止対策をしっかりとやっていますということを含めてPRしなければならないと思います。

また、城址公園の中に観光案内所や駅の中の観光案内所がわかりにくいように思います。駅の中にアルペンルートや黒部峡谷の模型を作るなど、もう少しわかりやすく観光客に訴えていくものがあればいいと思います。

(商工労働部長)

今いただいたご意見につきましては、今後の観光戦略の参考にさせていただきたいと思っております。

桜谷みどり町に馬渡川がありますが、牛ヶ首用水の水が遮断されると、雨が降らないと、干上がってしまいます。3、4 日前にはほとんど水がなかった。そうすると、そこにいる鯉や鮒が、みんな酸欠になって死んでしまうんです。2 日ほど前に、これをこのままにしておいたら臭くなりますよと、市役所に電話しました。たまたま次の日に雨が降って流れていったんですが、今日も橋の下を見るとたくさん魚がいて、水が枯れるとこの魚が死

んでしまうんです。

桜谷の環境保健衛生連合会がありますが、5、6年前に、馬渡川に生息している生き物についてファミリーパークと市の環境関係の部署が一緒になって(馬渡川に生息している生き物の)サンプルを採ってきてくれて、公民館で子供たちに触れ合ってもらい、そういったイベントをやっていました。また、馬渡川に蛍を呼びましょうという活動もやっていましたが3、4年前に止めました。鮎が日干しになって死んでしまうようでは意味がないと止めました。環境保護という観点からいっても良くないので、土地改良区に水を流してもらおうよう、市からも働きかけていただけないかと思います。

(企画管理部長)

馬渡川の河川水の問題につきましては、市の担当課の方にお話をされているということですが、今日、このようなお話が出たことを改めて担当課へ伝えさせていただきたいと思っています。後ほど、また、地区センター所長を通じて回答させていただきたいと思っています。

(地区センターを通して後日回答【建設部河川課 回答】)

この問い合わせを受け、五艘運動広場から桜谷みどり町にかけての馬渡川を調査したところ、流水がなく土砂が堆積し、魚の死骸を一匹確認しましたが、それによる腐敗臭の発生及びカラスの襲来など環境面での悪影響は見られなかったこと、また翌日が雨の予報であったことから、経過観察とし、後日、確認したところ、魚の死骸の確認はできませんでした。

環境保護という観点から土地改良区が馬渡川に水を流すことについて、該当土地改良区と協議をしたところ、①用水から流水する場合、直接の放流口がなく、個人の田を経由する必要があること、②農業用水として井田川の水利権を得ていることから目的外の利用はできないことから、非常に難しいと回答を得ております。

このようなことから、土地改良区からの流水は非常に難しい状況であり、そのほかに取水する方法もないことから、今後は、上流下流の河川水路管理者・土地改良区などの

関係機関と連携・情報共有を進め、状況に応じた対応を実施してまいりたいと考えております。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)